



夏井小学校だより No. 31

なつい



QRコード

令和5年12月1日

<スローガン>

- なかよく
 - つよく
 - いっしょう
- けんめい



教育目標：「豊かな関わりを自ら築き、共に学び育つ児童の育成」

TEL 34-3226 FAX 34-4219 発行責任者：いわき市立夏井小学校長 須田 英明



今日から師走

今日から12月です。令和5年も残すところ1か月となりました。「師走になって慌たしくなりました。」などに見聞きすることが多くなります。

では、どうして12月のことを師走と言うのでしょうか。意味や由来は定かではありませんが、年末は「師」が忙しくて走り回るから「師走」という説が有力です。「師」には、「僧侶」「医者」「教師」などの諸説があります。

12月は、年末年始の準備のために忙しい人も多くでしょうし、気持ちも慌ただしくなるものです。また、忙しさに加えて、寒さも厳しくなり、体調も崩しやすくなります。食欲の冬ではないですが、温かい食べ物をたくさん食べて体の中からぼかぼかになって、冬の寒さに負けないように過ごしていきましょう。慌ただしい「師走」ですが、子どもたち一人一人が、今年の自分の取り組みをしっかりと振り返り、成長したことはどんなところか、課題は何か、その課題にある原因や背景は何かを把握し、学校生活だけでなく、家庭生活もさらに充実したものとなるよう、新たな目標をもって新年を迎えさせたいと思います。



がんばりました！校内持久走記録会

11月24日（金）に1～4年生、11月29日（水）に5・6年生が、校内持久走記録会を実施しました。子どもたちは、記録会をきっかけとして、体育科の授業や朝のランニング等で体を鍛えてきました。「つよく元気な子ども」であるために、全員ががんばることができました。

記録会では、自己記録の更新ができた子もそうでなかった子もいたようでしたが、目標をもってがんばってきたことで、心も体も鍛えることができました。これからも、さらに「つよく元気な子ども」でいることができるよう、みんなでがんばっていききたいと思います。



認知症サポーター養成講座



11月21日（火）に、4年生が認知症サポーター養成講座に参加しました。

誰にでも訪れる「老い」の問題です。身近な人や出会った人が認知症だった時に、自分ができることは何か、どんな関わり方をすればよいのか、しっかりと考えた子どもたちです。

そなえるふくしま防災出前講座

11月22日（水）に、5年生がそなえるふくしま防災出前講座に参加しました。



災害が起きた時に最も重要なのは「命を守ること」。大切な命を守るために、過去の災害から学ぶこと、日頃からの備えが大切であることを学習した子どもたちです。